

事例発表
広島県における肝疾患対策

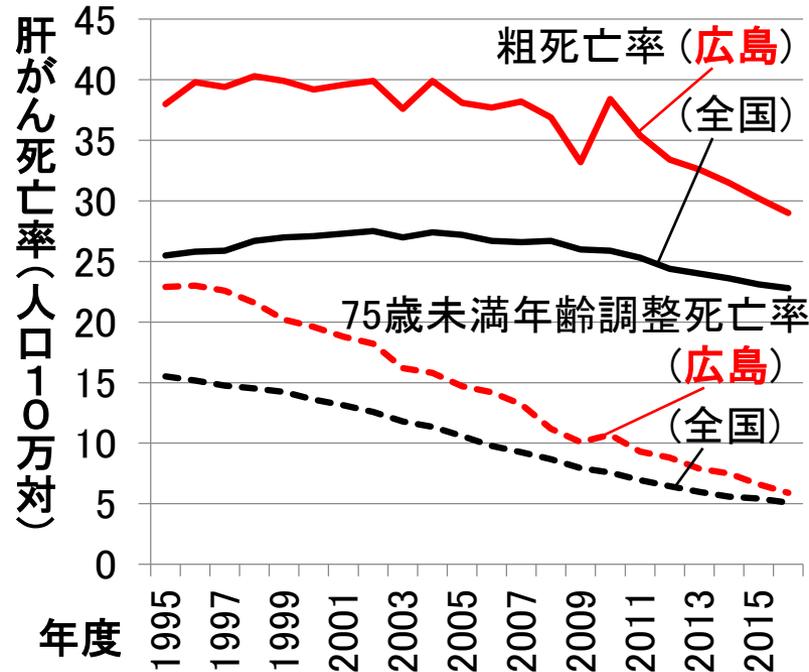
広島県健康福祉局薬務課
技師 三野 恵実

令和2年1月24日(金)
東京コンファレンスセンター・品川

本日の内容

- 広島県の現況について
- ひろしま肝疾患コーディネーターについて
- 広島県肝疾患患者
フォローアップシステムについて

広島県の現況① 肝がん死亡率



	2013	2014	2015	2016	2017
1位	佐賀県 9.0	愛媛県 8.3	青森県 7.7	愛媛県 8.2	愛媛県 6.8
2位	福岡県 8.4	鳥取県 8.2	佐賀県 7.6	佐賀県 6.9	佐賀県 6.6
3位	愛媛県 8.2	佐賀県 8.1	鳥取県 7.4	青森県 6.9	福岡県 6.4
4位	青森県 8.0	長崎県 7.9	福岡県 7.4	熊本県 6.9	鳥取県 6.0
5位	長崎県 8.0	福岡県 7.7	宮崎県 7.4	福岡県 6.9	和歌山県 6.0
6位	広島県 7.9	広島県 7.5	山口県 7.2	香川県 6.8	大分県 5.9
↓					
10位	山口県 7.3	和歌山県 6.9	広島県 6.6	鹿児島県 6.3	大阪府 5.5
↓					
15位				広島県 5.9	広島県 5.3

肝がん75歳未満年齢死亡率のワースト順位※2

下段の数値は肝がんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)

※1 人口動態調査

※2 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」より改変引用

- 広島県は全国と比べて肝がん死亡率が高い
- 広島県の肝がん死亡率は減少傾向

広島県の現況② 肝炎対策等の変遷

1991 慢性肝疾患専門委員会設置
参考:肝がん死亡率(1991,人口10万対)※
広島 29.4、全国 20.9

2002 健康管理手帳(初版)発行

2008 広島県肝炎治療特別促進事業

2011 **ひろしま肝疾患コーディネーター養成
(知事による認定)**

2013 肝炎検査記録カード発行
" **広島県肝疾患患者
フォローアップシステム**

2014 重症化予防推進事業

2017 **総括Co・特任Coの認定開始**
" **肝疾患Coの任期新設(5年)**

2019 肝炎に関する三者協定の締結

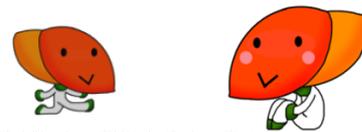
1992-2001
肝炎ウイルス検査(広島、岩手等)
パイロット地区として全国に先駆け、
住民対象の肝炎ウイルス検査開始

2008-2011
第1次広島県
肝炎対策計画

2012-2016
第2次広島県
肝炎対策計画

2017-2021
第3次広島県
肝炎対策計画

肝炎ウイルス検査の記録



広島大学肝炎・肝癌対策プロジェクト研究センター
広島県地域保健対策協議会肝疾患医療連携推進専門委員会

検査日	検査場所	メモ
年 月 日		

❖ 自分で記録しておきましょう。

おなまえ

※人口動態調査

- 早期から肝炎ウイルス検査を住民健診に導入
- 肝疾患Coを様々な所属(病院、薬局、企業、県・市町等)に多数養成
➡ 肝疾患Coの段階分け, 任期設定
- 行政主体のフォローアップシステムを早期から開始

ひろしま肝疾患コーディネーター

事業の概要①

肝疾患Coの認定

養成講座を受講し、試験に合格した者を肝疾患Coとして**知事が認定**する。
認定を受けた者には認定証・認定カード・認定バッジを交付する。任期は5年。
資格要件を定めておらず、様々な職種の者が肝疾患Coとして認定を受けている。

養成講座の時間割(2018)

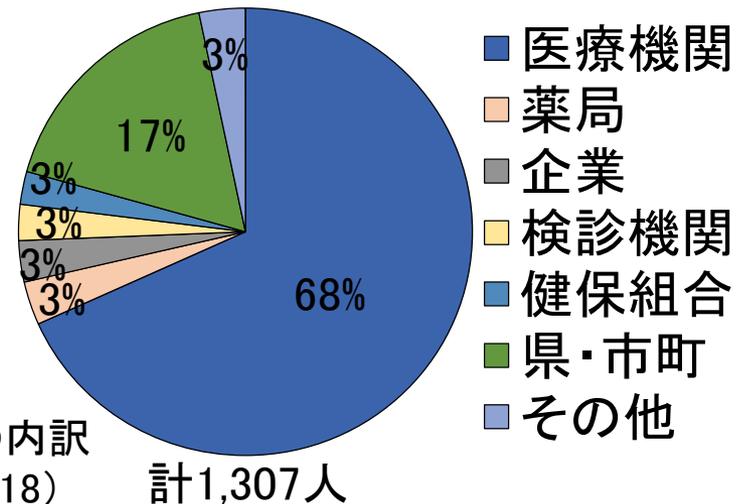
1日目	2日目
10:10~11:10 ウイルス性肝炎に関する疫学	10:05~11:05 肝硬変
11:15~12:15 B型肝炎	11:10~12:10 肝がん
13:15~14:15 C型肝炎	13:10~13:50 肝疾患患者に対する相談対応
14:20~15:20 ウイルス性肝炎以外の肝疾患	13:55~14:55 広島県における肝疾患対策
	15:10~15:40 確認試験



認定カード, 認定バッジ



肝疾患Coの内訳
(2011~2018)



事業の概要②

● 継続研修の実施

肝疾患Coの資質向上のため、肝疾患Coは、毎年開催される継続研修を受講し、知識や技能の向上に努めることとしている。

この継続研修を任期の間に1回以上受講することで肝疾患Coの任期を更新できる。

継続研修の時間割(2018)

10:10~11:10 ウイルス性肝炎の治療に関する最新の知見

11:10~11:50 肝炎に関する検査方法や検査データについて

11:50~12:20 広島県における肝疾患対策の最新状況



養成講座

- ・ 肝疾患Co(任期5年)になるための講座



継続研修

- ・ フォローアップ研修
- ・ 任期中に1回は受講

継続研修

- ・ 毎年受講することを推奨

新たな取組：任期設定，SNS活用

● 課題

肝疾患Coに認定されても「具体的に何をして良いか分からない」「1人で活動するには限界がある」などの意見があった。また、活動状況を“見える化”できておらず、活躍している肝疾患Coの活動状況がわかりにくいという課題があった。



● 任期の更新

継続研修を任期の間に1回以上受講することで肝疾患Coの任期を更新できる。
2021～2025年が任期の場合，この間に継続研修を受講すると2030年までの任期となる。

● Facebook「知って、肝炎@広島県」

【目的】

最新の情報をタイムラグなく肝疾患Coに提供し肝疾患Co同士が情報交換するため。

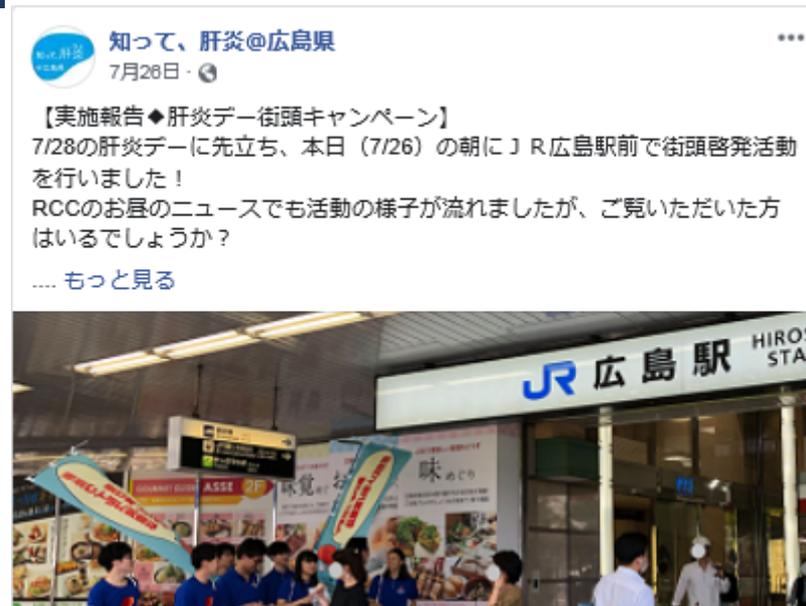
【投稿内容例】

制度改正や新薬情報などのお知らせ，制度の解説，イベント案内など。

医療機関からの情報として研修会のお知らせや実施報告，事業の案内なども掲載。



Facebookのアカウントが無くても
ご覧いただけます



新しい取組：総括Co・特任Co

● 総括Co・特任Coの認定

活動を統括・支援するため、総括Coと特任Coの配置を2017年から開始。
広島大学病院が総括Co・特任Coを選定，県がこれらを認定し，認定カードを交付する。

● 総括Co・特任Coの役割

- 【 総括Co 】 特任Coの活動のとりまとめ・調整，講演会や交流会などの企画・実施 など
- 【 特任Co 】 圏域内の肝疾患Coの統括，啓発・講演会などに係る補助 など

● 総括Co・特任Coの活動

- ・特任Co連絡協議会
- ・所属内の肝炎対策に係る体制の整備
- ・情報発信
研修会，学会などで県内外に情報発信

広大病院では相談事業も実施 ↓↓

～研修会や勉強会を開催したい～

- ・地域の住民を対象とした肝臓病教室
- ・肝炎ウイルス検査受検勧奨の取組み
- ・患者や地域住民からの相談対応
- ・肝臓病教室を始めたいが、通用方法を知りたい

等々



- ・県内全域のリーダー
- ・全体のとりまとめ、研修会等の調整

- ・2次医療圏のリーダー
- ・先進的な活動、研修会の講師

- ・自所属での肝炎対策の中心
- ・様々な所属に合わせた活動

新しい取組：院内連携の強化

● 肝疾患Co登録情報の活用

【課題】

所属内で誰が肝疾患Coとなっているのか肝疾患Co同士が把握できていなかった。

【取組】

平成30年度の養成講座・継続研修受講者全員に、総括Co・特任Coに登録情報※を提供してよいか確認を実施。

特任Coからの依頼に基づき県から特任Coへ承諾の得られた者の情報を提供した。

➔ 所属内の肝疾患Co名簿，メーリングリストの作成

● 肝炎ウイルス関連検査の結果説明の徹底について(依頼)

平成31年3月28日付けで薬務課から県内の全専門医療機関の長宛に、検査結果を適切に説明し受診勧奨に繋げるため、院内連携への協力を求める依頼文を送付。

(添付書類)

- ・県が提供できる資材等の一覧
- ・資材等の利用申込書

➔ 肝疾患Coや医師らによる適切な結果説明のための連携体制

平成31年3月28日

肝疾患専門医療機関の長様

広島県健康福祉局薬務課長
(〒730-8511 広島市中区基町10-52)

肝炎ウイルス関連検査の結果説明の徹底について (依頼)

療行政の推進については、日頃から御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。等に行われる肝炎ウイルス検査については、受検者自身が検査結果を正しく認識することによる適切な説明をお願いしているところです。

0年4月1日の診療報酬改定により、手術前医学管理科 (B001-4) について、「(8) 本られている肝炎ウイルス関連検査を行った場合には、当該検査の結果が陰性であった場合、検査の結果について患者に適切な説明を行い、文書により提供すること。」が必要となり

状況を踏まえ、県では、肝疾患診療連携拠点病院や「ひろしま肝疾患コーディネーター」な結果説明及び陽性者を専門医受診に繋げる取組を推進していくこととしました。性・陰性に関わらず肝炎ウイルス検査の結果について患者に適切な説明を行い、陽性者診に繋がっていただきますよう、貴医療機関内での連携等に御協力をよろしくお願い致します。

別紙のとおり陰性者向けの案内等を作成しています。結果説明等にご活用いただける書に必要部数を御記入の上、郵送、FAX又はメールでお送りください。ただし、資料ので御希望に添えない場合があることを御了承ください。

担当 肝炎対策グループ
電話 082-513-3078 (ダイヤルイン)
FAX 082-211-3006
E-mail fuyakumu@pref.hiroshima.lg.jp
(担当者 瀧内、三野)

広島県肝疾患患者 フォローアップシステム

広島県肝疾患患者フォローアップシステム

● システムの概要と現状

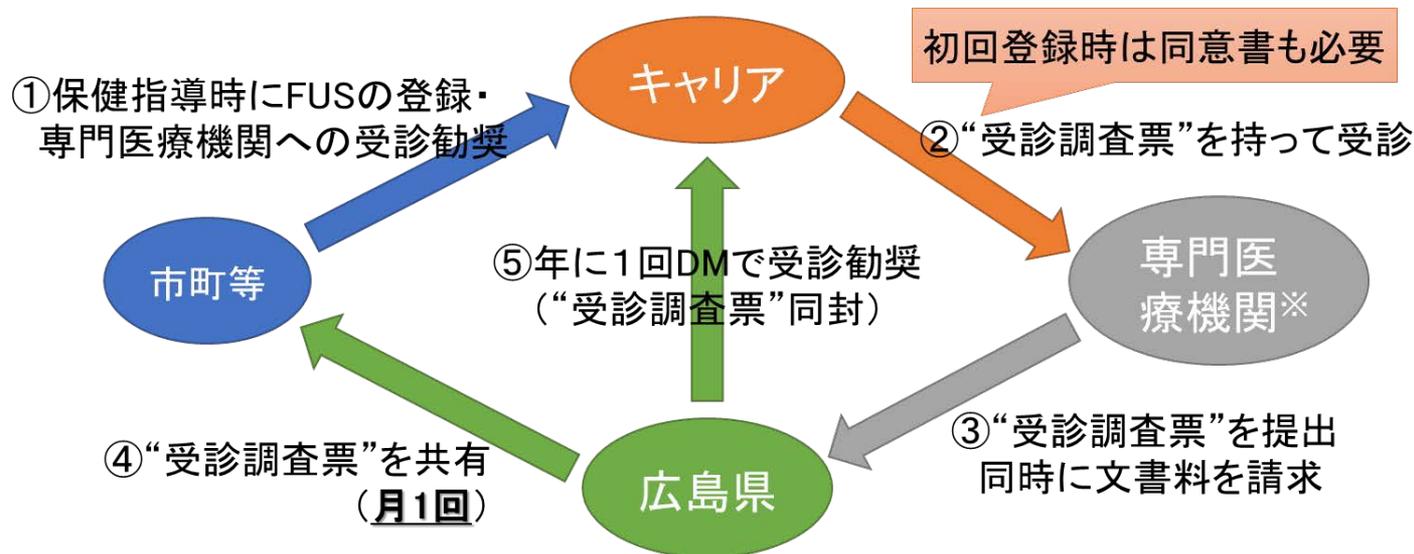
【対象者】広島県内に居住するキャリアのうち、登録に同意した者

【登録者数】2,737人(H31.3月末現在値)

● システムの仕組み

“**受診調査票**※”を利用してキャリア・医療機関・県・市町が情報を共有。
年に1回県から受診調査票などを送付し、受診勧奨を行う。

※受診調査票：**診断書の代わり**に用いる独自の様式。**文書料は広島県が負担**。5枚複写で、
医療機関・県・保健所・市町・キャリアがそれぞれ保管する。



※専門医療機関: 専門医が所属する医療機関
(常勤・非常勤は不問)

広島県のシステムの特徴：受診調査票

“受診調査票”を利用することで

● 登録者が負担する文書料は0円

- 文書の作成料は広島県が全額負担。
- 「受診調査票」を記載した医療機関は1月分の文書料(1,000円/件)を県に請求する。

● 受診状況の確認を受診調査票で行う

- 医療機関が文書料を県に請求する“ついで”に受診確認
⇒医療機関、患者に大きな負担がない

● 検査費用請求時の診断書の代替になる

● 共通様式で情報共有できる

- キャリア、医療機関、県、保健所、市町が同じ書類を保管
- 事務手続きの中で受診調査票が共有される
(ただし、県から保健所・市町には受診調査票を送付する必要がある)

様式第2-1号		1 県提出用	
※専門医療機関は本欄を画し記載後、1～3を県へ提出してください。			
広島県肝疾患患者フォローアップシステム医療機関受診調査票 (新規登録用)			
フリガナ	性別	生年月日	
患者氏名	男女	大 昭	年 月 日生
住 所	〒		
	電話番号		
	携帯電話番号		
【記載年月日：平成 年 月 日】			
検査所見	B型肝炎ウイルスマーカー	HBs抗原(+)・(ー) (検査日：平成 年 月 日) HBV-DNA定量 (LogU/mL) (検査日：平成 年 月 日) 上記検査項目が現在の病状の場合、下記にチェックが必要です。 <input type="checkbox"/> 治療開始前はHBe抗原陽性及びHBV-DNAが陽性であった。	
	C型肝炎ウイルスマーカー	HCV-RNA定量 (LogU/mL) (検査日：平成 年 月 日) 上記の検査項目が現在の病状の場合、下記にチェックが必要です。 <input type="checkbox"/> 治療開始前はHCV抗体陽性及びHCV-RNA陽性であった。	
診断結果 (該当するものに○を記入してください)		最近の診断年月日 (平成 年 月 日)	
	無症候性キャリア	B型肝炎ウイルスによる・C型肝炎ウイルスによる	
	慢性肝炎	B型肝炎ウイルスによる・C型肝炎ウイルスによる	
	代償性肝硬変	B型肝炎ウイルスによる・C型肝炎ウイルスによる	
	非代償性肝硬変	B型肝炎ウイルスによる・C型肝炎ウイルスによる	
	肝がん	B型肝炎ウイルスによる・C型肝炎ウイルスによる	
その他	治療後の場合(ウイルス治療を受けた後で経過観察を行っている場合など)は、下記にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 慢性肝炎治療後の経過観察中である。 <input type="checkbox"/> 代償性肝硬変治療後の経過観察中である。 <input type="checkbox"/> 非代償性肝硬変治療後の経過観察中である。 <input type="checkbox"/> 肝がん治療後の経過観察中である。		
治療状況 (該当するものに○を記入してください)	<input type="checkbox"/> 経過観察	<input type="checkbox"/> インターフェロンプリー治療	
	<input type="checkbox"/> 治療中 <input type="checkbox"/> 治療予定 <input type="checkbox"/> 治療済 ※右欄の治療内容にチェックしてください	<input type="checkbox"/> インターフェロン治療 <input type="checkbox"/> 経口薬治療 <input type="checkbox"/> その他 ()	
専門医療機関	医療機関名	所在地	印
	担当医師名		印
※ (県記入) ID番号: _____			

受診調査票(5枚複写)

- 文書料0円
- 受診確認に利用
- 検査費用請求に利用